

ぶらり諏訪塾® もう一人の諏訪頼重

前宮社務所裏、鶏冠社へ行く道の入口角に、諏訪（照雲）頼重の供養塔がある。

頼重といえば戦国時代に、甲斐の国と結ばれていた同盟を武田信玄に反故にされ、上原城を捨て桑原城まで撤退し籠城したが、最終的に甲府に送られ専光寺で自害させられた総領家の諏訪（刑部大輔）頼重を思い起すが、ここに供養されている頼重は、鎌倉時代後期の太祝、諏訪（三河権守）頼重である。照雲（入道）は法名のような存在だった。

鎌倉幕府は源頼朝の死後、北条家が執権という立場で実権を握り、約150年間も続いた。しか

し、流刑だった後醍醐天皇の命により幕府に不満を持つ武士が集結し、足利尊氏の寝返りなどにより六波羅探題を落とされ、最後は新田義貞に攻め込まれ、北条一族郎党873人が自害して鎌倉幕府は滅亡したとされた。

しかしその時、諏訪頼重は北条高時の次男ら歳の亀寿（時行）を諏訪に連れ帰り、密かにかくまっていた。そして2年後、まだ7歳の北条時行を総大将に立て、諏訪一族郎党・北条氏残党・反後醍醐派・信濃の武将などとともに挙兵し、信濃国守護の小笠原を始めとして関東の有力武将や足利直義を撃破し鎌倉を奪取した。

しかし25日後には、足利尊氏に大軍を派遣され鎌倉を奪還されると、頼重以下43人が勝長寿院で自

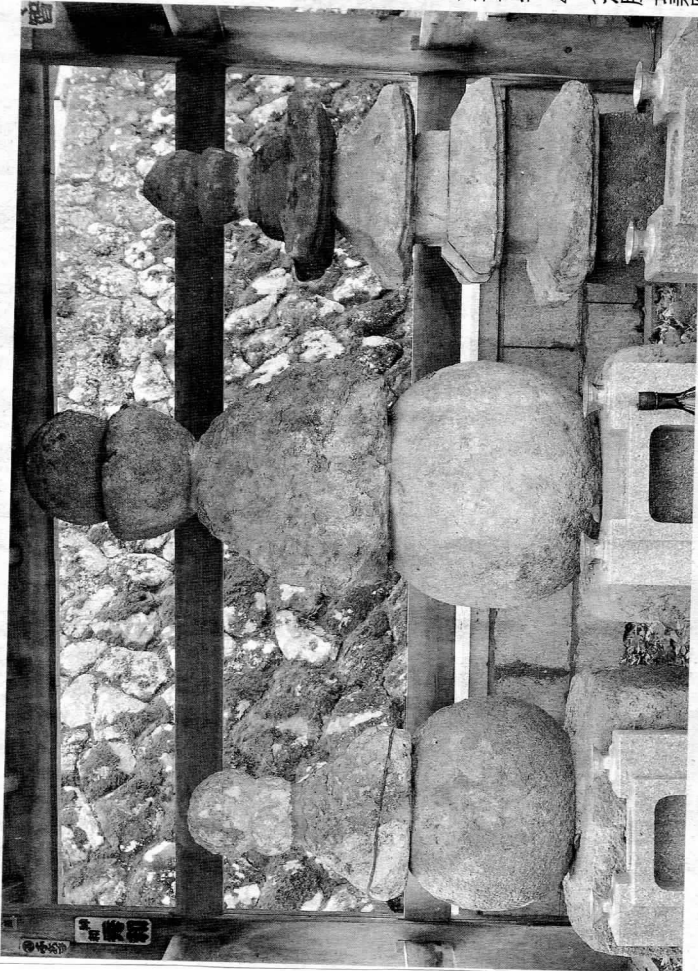


害した。彼らは顔の皮を剥いでからの自害だったため、死体が誰か分からない時行は再び逃げ果せたのだ。その2年後に時行は再び鎌倉に進軍するのだが…。

以降は、集英社「逃げ上手の若君」作、松井優征に譲る。今年の7月からはTVアニメも始まるようだ。

＝随時掲載

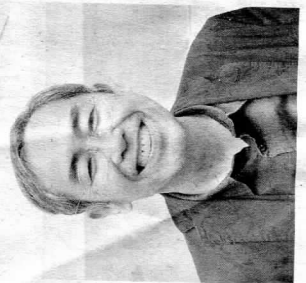
詳しい場所などの問い合わせは諏訪塾事務局（電話070・83323・2107）へ。



諏訪照雲頼重の供養塔

- ぶらり諏訪塾の冊子は
- ・諏訪市観光案内所
(JR上諏訪駅)
 - ・れすらん割烹いすみ屋
(諏訪市諏訪)
 - ・書店「三書堂」
(諏訪市末広)
 - ・すわ大宮情報センター
(諏訪市博物館)
 - ・諏訪書店(通販のみ)
57・0992)
 - ・柏屋カフエ&ギャラリー
(諏訪市中洲神宮寺)
で販売中です。

今回の筆者



五味光一さん

一級建築士。まち歩きイベントの講師も務める